

平成 28 年 6 月 21 日

「日工グループ 2016 年～2018 年中期経営計画」策定のお知らせ

～多様な視点で、ものづくりに新たな価値を創造し、お客様と共に成長する企業を目指す～

日工グループは、今年度より 2019 年 100 周年を見据えた新たな指針として、「中期経営計画 2016～2018」を策定しました。

当社グループの事業領域であります建設関連分野は、民間企業収益の改善による建設投資の増加、景気対策や国土強靱化対策等による公共関連事業は引き続き堅調を維持するものと思われませんが、一方で物価上昇に伴う個人消費の伸び悩み、建設資材価格の一層の上昇、更には労働力不足が懸念される中、将来利益の最大化を目的に発展成長分野への積極投資と収益モデルの改善を図り、売上高 3 年間平均 320 億円、最終年度の営業利益率 7%以上を目指します。

【経営方針】

日工グループは、多様な視点で、ものづくりに新たな価値を創造し、お客様と共に成長する企業を目指す。

【基本方針】

コーポレートガバナンスの強化を推進し、透明性の高い、活力ある企業運営を行います。

～ キーワードは、「融合」、「協働」、「創造」 ～

1. 社員が持つ、個のこだわりを融合し、新たな商品価値を創造する。
2. 質の高い、安定感のある事業推進、収益基盤を築く。
3. 組織の協働が高まる、新たな業務システムを構築する。

【重点取組】

新たな事業化活動に対し、意欲的に取組み、価値観が高まるオペレーションを繰り返し実行します。

1. 各事業のコア技術、強みを融合し、新たな商品価値を創造します。
2. 定量的に収益が向上する体制を構築します。
3. 国内外の顧客価値を高める、需要を連鎖する商品企画を立案します。
4. 業務効率が向上するシステムを構築し、顧客に新たな価値を提供し続けます。

【定量目標】

- 売上高 3 年間平均 320 億円、最終年度の営業利益率 7%以上。
- 発展成長分野 最終年度の売上高 50 億円増の 80 億円を目指す。